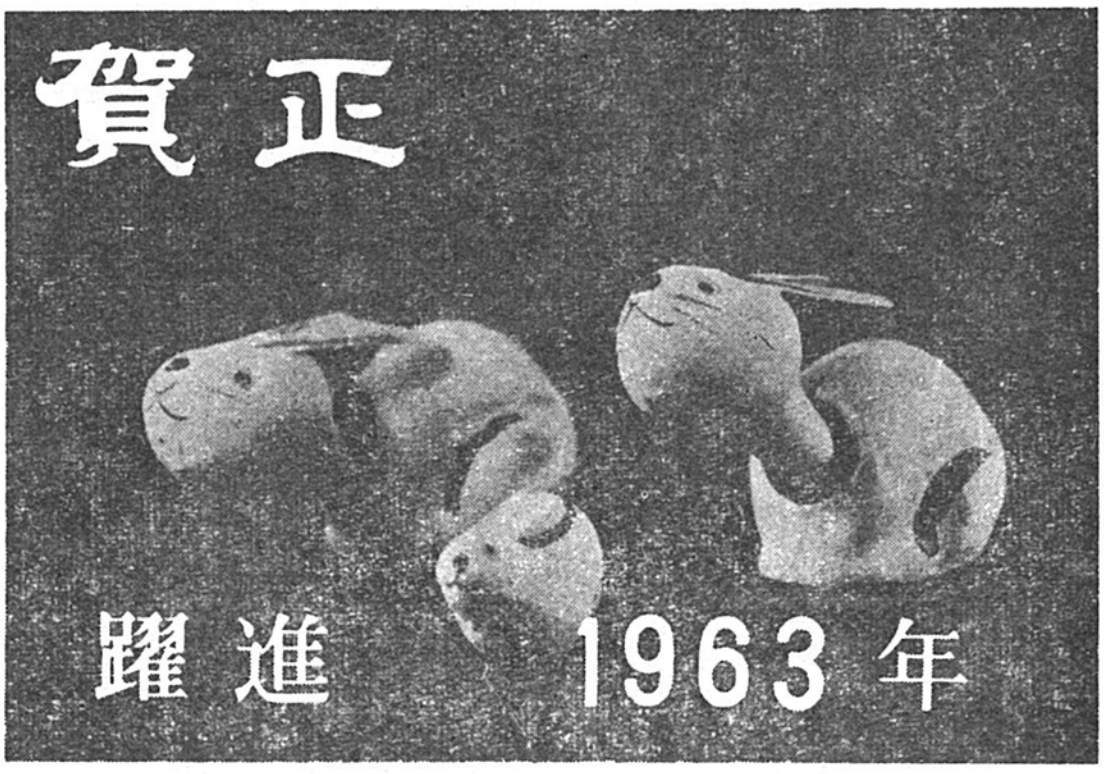
人のうごき
(37.12月末現在)
人口 74,127
世帯 16,413
前月に比べ
326人119世帯の増

広報かしわ

発行所
柏市役所
柏市柏29番地
電話（代表）2101
編集企画課



ことしの抱負

「明るい、住みよい、豊かな」市づくりを
飛躍的な発展に対処

清新にして陽光に輝やく昭和三十八年の新春を迎えるに当り、先づ市民皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたし、謹んで新年のお祝詞を申し上げます。

さて、昨年の市長改選に際しましては、市民各位の格別のご支援とご信任を得まして、ここに再び躍進柏の市政を担当することになりましたことは私の深く喜びとするところであります。

私は、過去四ヶ年の経験と反省の上にたつて新たな決意と抱負のもとに、明るく住みよい産業住宅都市建設のため、誠実且つ着実に市政を推進いたす所存でありますので宜しくご支援ご協力くださるようお願い申し上げます。

まづ、市勢の発展を期するためには、首都圏整備計画による市街地開発区域の指定を受け、本市が立案中の柏市総合開発計画との調整を図つていくことをもつて「市づくり」の基本的な構想といたしたいと考えております。

今後の本市の長期開発計画は、ただ本市のみに止まることは当を得たものでなく、国及び県の開発計画につながり、また四隣町村開発との密接な関連において考えられなければならないことを明確に認識した上で樹てられねばならないと存じます。

当面する市政の課題といたしましては、長期の市づくりの観点に立つての本市建設計画の第二次実施五ヶ年計画の樹立と、都市計画上では、用途地域の設定を実現せねばなりません。また農業、中小商工業の指導育成と近代化を図るべく金融の円滑化につとめ、或いは通勤者のための常磐線輸送力の増強の実現、駅前広場の早期解決、日本住宅公団豊四季団地造成に伴う西口地域の整備等数多くの重要事業の解決にも努力を傾注いたす覚悟であります。

なお、建設行政、教育行政、衛生行政等においてもいろいろ困難な仕事があります。例えば、主要市道の舗装推進、上下水道の整備拡張、学校・社会施設の充実、汚物処理の完全化等どれを挙げてもすべて市民各位に直結した問題ばかりであり、これら諸事業の完遂には、建全な財政基盤がなくては到底なし得ない問題ばかりであります。

これまでは、浜島消極財政のそしりを受けておりますが、あくまで計画的合理的な方針を堅持しつつ前向きの運営をはかりたいと思いますので、市議会始め、関係各位の変らざるご支援とご協力をいただきたいと存じます。

（次頁へつづく）

一方これとともに、内部におきましても組織機構、事務改善等について総合的に検討を加え、事務能率の向上、合理化による市民サービスの向上を期し、また発展過程の変化に即応する政策の決定推進の円滑迅速化をはかりたいと存じます。

さらに、本市市制施行十周年を明年にひかえ、この記念事業として市役所庁舎の造築、総合グランドの建設、市史編さんの三事業を採り上げたいと存じます。

市政は、住民各位の福祉に直結した所謂才一線であります。

重ねて私の念願である「明るい、住みよい、豊かな市」づくりに変らぬご指導ご支援を賜わりますことをお願い申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

年頭の挨拶

議会人の使命に邁進

柏市議会議長　藤井惣司

明けましておめでとうございます。こゝに新年を迎えるに際し、謹んで市民各位に賀意を表するとともに議会を代表し所感の一端を開陳いたしたいと存じます。

顧りみまするに、本柏市は昭和二十九年九月、人口約四万余りをもつて田園都市的性格の強い小都市として発足したのであります。爾来、今日までの八年間において柏市は飛躍的な発展を遂げて参りましたことは周知のとおりであります。

しかしながら、その間における柏市発展の道程は非常に険しいものがあり、文字どおり苦難の連続でありました。「ローマは一日にして成らず」と申しますが、柏市も今日の隆盛を築き上げた陰には、市政に対する温かい協力援助を寄せられた幾多の市民、加うるに献身的な努力を払われた為政者等の偉大なる功績がかくされていることを見逃すわけにはまいりません

私たち議会人は、これらの偉績を十分に会得し、柏市発展のために更に前進しなければならないのであります。

今や柏市は人口実に七万三千有余の多きを数え、千葉県下における名実ともに充実した中堅都市として日夜発展を遂げつゝあります

が、更に近く旧競馬場跡に建設される住宅公団豊四季団地完成の暁には、一躍十万都市として進展することが約束されており誠にご同慶にたえないところであります。

しかしながら人口の社会自然増は近代都市構成の要件ではありますが、市政の本来の目的であるところの住民の福祉増進、生活向上安定等を図るためにはやはり財政的な裏付が前提条件になるものと信ずるものであります。

一方わが国内外の諸情勢においても、昭和三十七年は多事多難の年であつたと思われます。なかんずく経済情勢については、その成長率の停滞が大きく左右し、その結果、消費者物価の引き上げ等を誘発し、私共市民の台所にも直接影響を及ぼすような状況にあり、生活の安定さえ憂慮されるような現状であります。

以上のようなわが国の情勢下におきまして、私たち市政にたずさわる者は、これが地方財政に及ぼす影響というものを慎重に考察し更に最小の経費で最大の効果を挙げるよう市政に当ることが必然的に要求されるのであります。

「一年の計は元旦にあり」と申しますが、私たち為政者は、柏市建設の百年の大計を樹立し、將来のあり方を方向ずけなければならないのであります。このことが直接に市民の福祉を向上させ、又生活を安定させる最大の途であると考えるものであります。

国家の興廃盛衰は、地方自治の良否に負うところ少なからず、国家を大有機体とすれば、市町村は実にその手足であり、これが健全でなければ国家の安寧を保持することは出来ないのであります。

即ち、私たちは地方自治の本旨に則り、執行機関と議決機関が表裏一体をなして市民の福祉増進、生活の安定向上のため総合的な計画を策定し、それを強力に推進しなければならず、又それが私たち為政者に課せられた最大の責務であると信ずるものであります。

昭和三十八年は柏市の将来を方向ずける重要な年であり、更に私共議会議員の最後の任期ともなりますので、これが実現には全精力を傾け努力をいたし責務の完遂に邁進いたすことをお誓い申し上げ年頭のご挨拶といたします。

基本選挙人名簿が確定

昭和三十七年九月十五日現在で調製しました選挙人名簿の登載者数が確定しました。

（　）内は昨年同期のもの

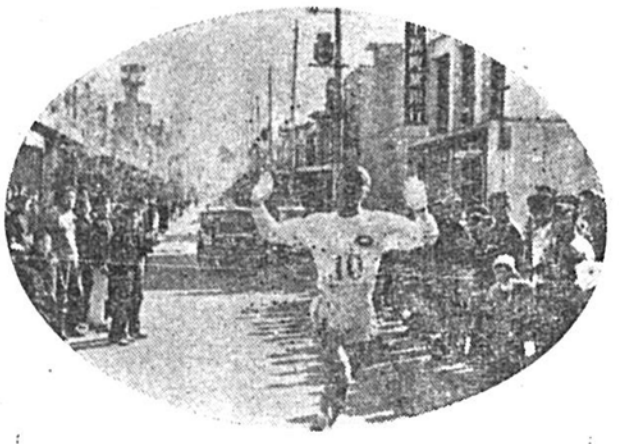
市の有権者数

42,163人
(38,772)

男　20,673人
(18,982)

女　21,490人
(19,790)

盛りあがる力を見よ　宍戸左行



ゴール・イン

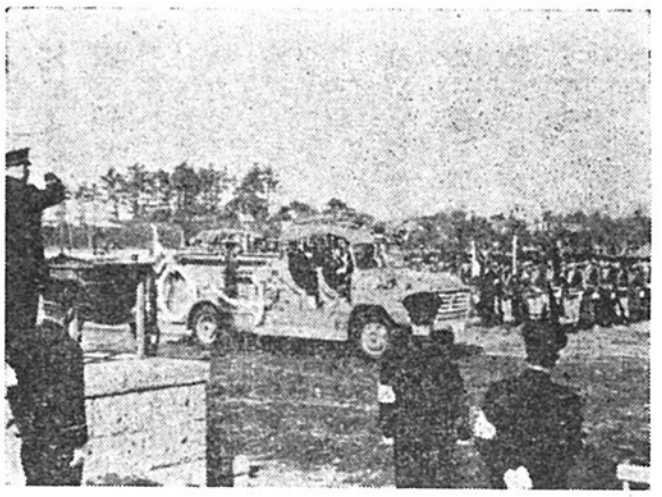
寒風をついてスタート！

□…教育委員会・体育協会・陸上競技協会が主催する、第二回〔元旦マラソン大会〕は、雲ひとつない快晴に恵まれ盛大に行なわれました。

□…寒さにも負けず、元気にこの大会に参加した約八十名は、午前十一時柏駅東口をいっせいにスタートし市街を一周（中学生三千メートル高校生、一般の部五千五百メートルのコース）沿道、ゴールに集まった応援のひとたちの拍手を浴び、新春にふさわしく、スポーツ柏の開幕でした。

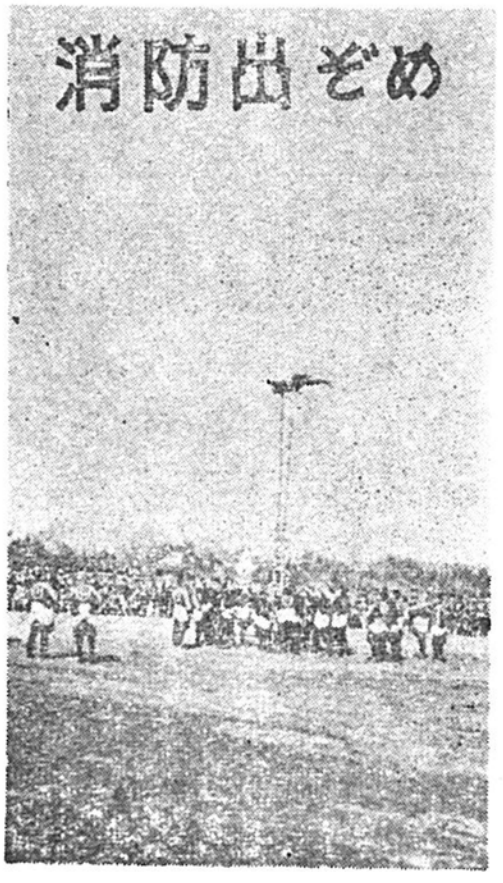
□…成績結果は、中学生の部＝金子　進君（土中）タイム9分51秒、高校生の部＝田口　勇君（中央杉並高校）16分42秒、一般の部＝岩間清一さん（岡田タイヤ）18分03秒　がそれぞれ一位の栄冠を得ました。

恒例の行事三題

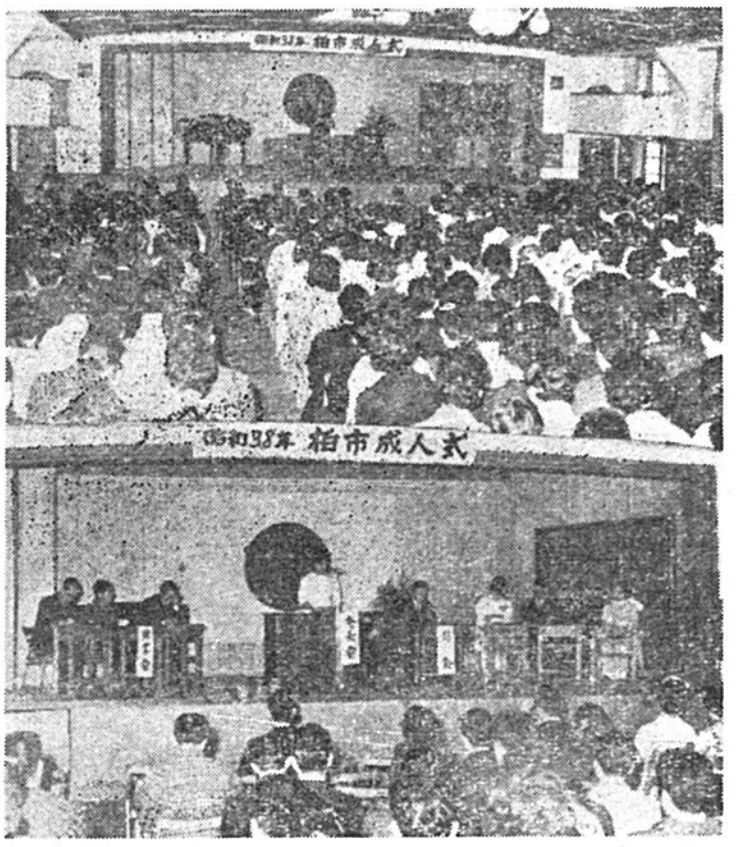


↑　堂々とう列行進

↓　アトラクションに登場した関東トビ職連合会のハシゴ乗り



★新春を飾る消防出ぞめ式は、十四日柏中校庭で柏市消防の総出動により華々しくくりひろげられました。式は国旗入場のち消防殉職者に対する黙祷　市長式辞・消防長・団長訓辞と進められ、直ちに演習を開始　日夜訓練を積み重ねた多彩な操法や教練ぶりを披露しました。続いて知事賞はじめ各種表彰、来賓祝辞があり第一会場の行事を終了、引き続いて各署団員はタンク車に分乗し市中を行進……市民を火魔の脅威からまもるため　常にたゆまぬ努力を誓い合いました。



晴れておとなの仲間入り
……成人式……

▽一月十五日は「成人の日」柏市では恒例によつて午前十時から柏中講堂で、成人となつた若人たちを祝い励ます「成人式」が晴やかに行なわれました。▽ことし市内の成人者は、一四五五名でこの式典に参加した約四五〇名は、思い思いの希望を胸に秘めて将来の人生へのスタートを祝し、輝やかし前途を誓いあいました。▽式場では、教育長・市長・議長をはじめ各来賓の祝辞があつたのち、成人となつた決意を示す代表者の意見発表かあり式を終了しました。

37年度上半期 市の財政状況

投資的経費に37%

総予算額8億3千万円

市の財政は、その予算の約半分が私たちの尊い税金でまかなわれているわけですが、はたしてそれが私たちの生活にどんな役に立っているかはだれもが関心をもつ問題だと思います。市が行なわなければならない事業には、たとえば教育施設の充実、道路、上下水道事業、環境衛生の改善などたくさんあります。

市では、毎年六月と十二月の二回これらの事業をまかなう市の財政の状況を公表していますが、今回は三十七年度の上半期（四月から九月まで）の状況の概要をお知らせいたします。

一般会計

収入と支出の概要

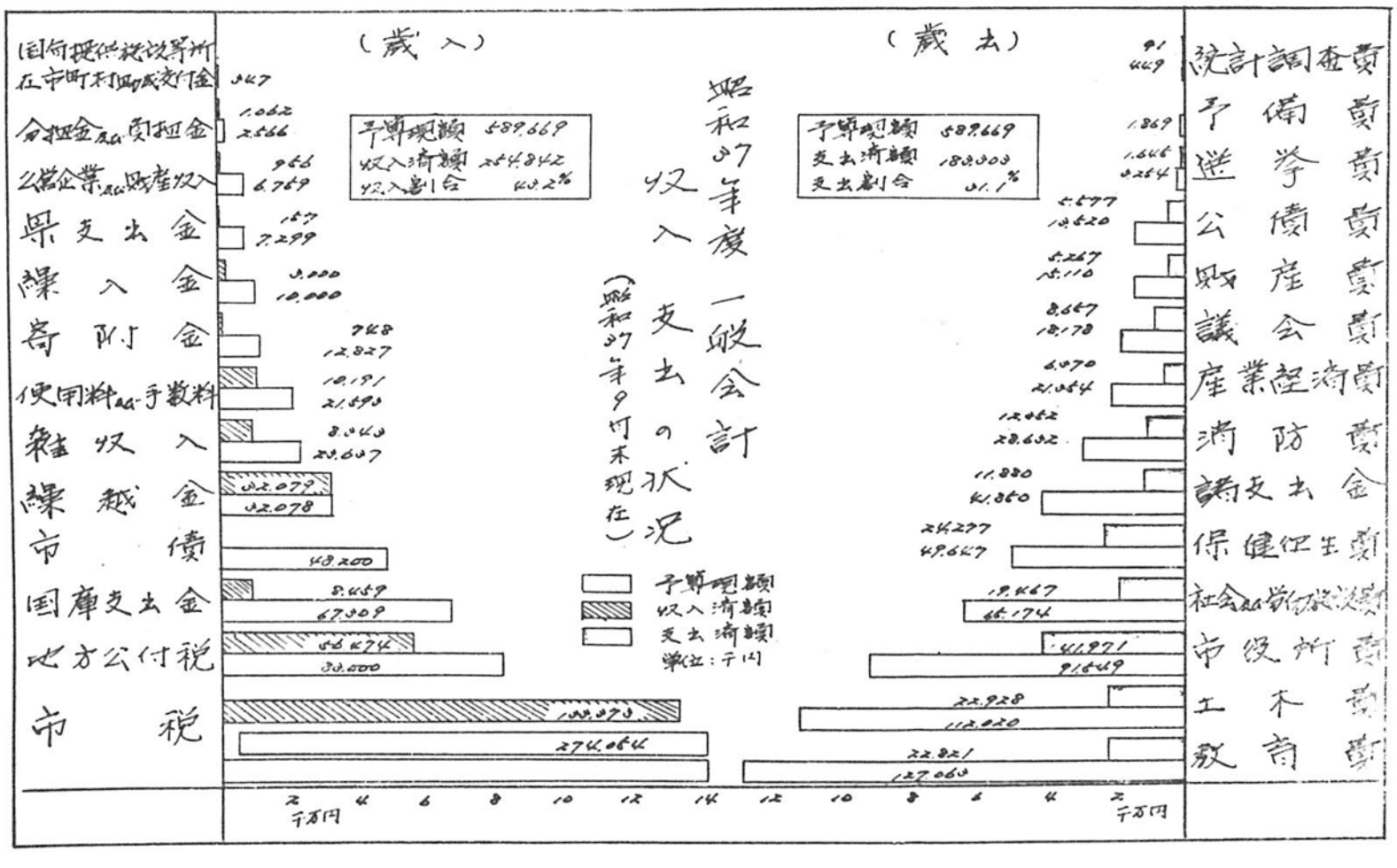
一般会計の当初予算額は、五億五千十二万一千円で前年度当初に比較し、一億四千五百三十九万四千円　三五・九%の増加で、歳入については市税が全歳入の四八・九%を占め、ついで地方交付税の一五・一%、国庫支出金の一二・一%となっております。

歳出では、人件費が二八・一%、物件費が一四・四%、投資的経費が三六・八%、その他維持補修費繰出金、公債費等で二〇・七%となっております。

投資的経費の主なものは、一小、二中、田中中の校舎新築、増築、三小屋内体育館の新築、市民会館市営住宅の建築、都市計画街路の整備、道路の新設改良、し尿処理場の建設等総額で二億二百五十一万八千円また下水道、区画整理事業に建設事業費として繰出金千七百万円を計上いたしました。

予算の更正は、九月末までに三回行ない、第一回は三十六年度事業繰越　し尿処理場用地購入費を五百万円、第二回目は街路事業費、道路新設改良費、し尿処理場用地購入費不足分、可搬ポンプ積載車購入、道路補修等に二千二百六十三万円を、第三回目は道路維持補修費、タール舗装等を主に千百九十一万八千円を追加し、九月末の予算額は五億八千九百六十六万九千円となりました。

九月末の収入は二億五千四百八十四万二千円で、予算に対し四三・二%、前年同期よりも六・二%低く、また支出は一億八千三百三十万三千円で執行率は三一・一%、前年同期よりも六・八%低くなっておりますが、歳入歳出とも前年度より低いのは、予算の中に占める投資的経費の割合が前年度に比らべ多く、補助、起債等の関係で建設事業が年度後半にかたよるためです。



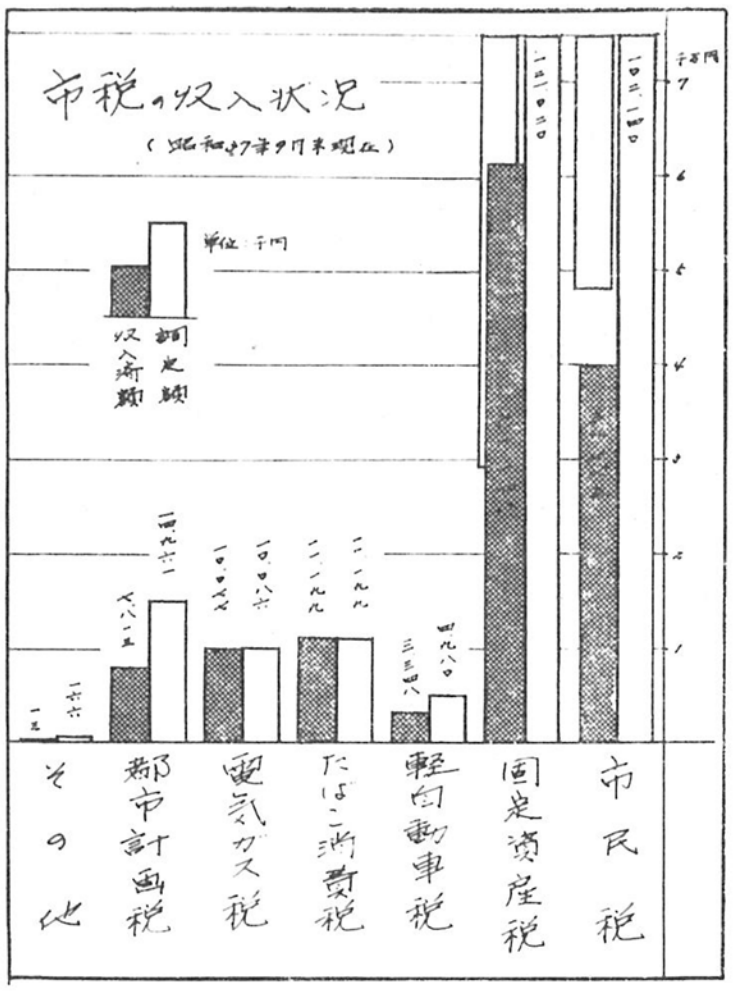
市民の市税負担

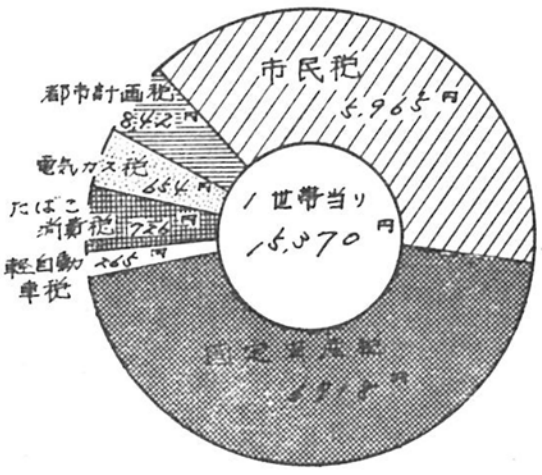
一人当り 三、三五八円

私たちがいちばん身近かに感じる市税について、私たちは市税をどのくらい負担しているのでしょうか。

現年度市税の九月末調定額を三七・四・一現在の人口一人当りでみますと、三、三五八円で前年度より五〇一円多く、そのうち市民税は実質的に負担が増加し、所得の増加による税収の増加とあわせて一、三〇三円と前年度より四〇五円多くなつています。

その他の税については、五月からたばこ消費税は百分の十一から百分の十に、電気ガス税は百分の十から百分の九に税率の引下げがありましたが、消費の増加でたばこ消費税はほとんど変わらず、電気ガス税は二二円の増加となつています。





一世帯当りこれだけ負担しています

投資的経費の予算と支出

いろいろな建設事業や整備事業は、市の財政投資によって行なわれるわけですが、三十七年度のおもな投資的経費の計画額と九月末の支出状況を挙げてみました。

※カッコ内の数字は支出済額　単位千円

◆都市計画街路事業＝三四、六七八（八一五）中原～向中原線新設（用地買収）◆道路新設改良＝二六、二六二（四、五四五）日立藤心線・今谷上町～豊町線新設・上須原～向原線・日光街道通り・第一小北通り他13路線タール舗装◆柏一小危険校舎改築＝二四、三七七（一八）◆し尿処理場建設＝二〇、七三四（八、五二六）◆田中中校舎新築＝一五、三一六（一）◆柏三小屋内体育館新築＝一六、五五七（一）◆市営住宅建築＝一二、六三一（六三）◆失業対策事業＝一二、一二二（五、〇三〇）日光街道舗装・南柏駅附近電通団地舗装◆市民会館建築＝一一、七〇三（一八）◆下水道事業＝八、九二二（一、六三六）山崎薬局横通り街渠新設・東葛木材横通り下水・戸張線排水工事・桜台下水◆小中学校々地購入＝六、五一五（七二四）◆柏二中校舎増築＝五、〇四五（四、九〇九）◆庁舎建設用地取得＝五、〇〇九（一）◆国県道整備負担金＝五、〇〇〇（一）◆柏中プール建設＝三、七三五（一）◆市営住宅建築（敷地購入）＝三、二七六（一）◆区画整理西口替費地購入＝三、〇〇〇（一）◆消防ポンプ自動車購入（三台）＝二、九三〇（二、九三〇）◆塵芥処理自動車購入＝一、三五〇（九〇〇）

市の財政規模

37.9末現計予算

一般会計	…5億8,966万9千円
上水道	…… 7,141万9千円
国民健康保険	…… 5,423万8千円
公益質屋	…… 510万7千円
有線放送	…… 1,280万3千円
柏駅西口上地区画整理	…… 1,747万6千円
宅地造成	…… 4,841万円
下水道	…… 3,000万円
合計	…8億2,912万2千円

市有財産と市債

市では学校関係そのほか公共的な土地や建造物をもつているわけですが、いつたいどのくらいあるのでしょうか。

土地では地積にして現在八万六千百八十余坪、建物は面積にして一万四千五百二十余坪をもち、預金と有価証券はあわせて千五百六十八万七千余円があります。

また、市債の現債高は一般会計分を債目別にみますと、教育債が七千五百七万二千円、土木債千五百二十万九千円、社会及労働施設債八百三十五万二千円、消防費五百八十四万円、保健衛生費二百三十九万五千円、市役所債六十二万五千円で計一億七百四十九万三千円となり、特別会計分では、上水道事業債が九千八十四万三千円、西口土地区画整理事業債千八百三十三万三千円、下水道事業債八百万円、公益質屋事業債百三十三万六千円で計一億一千八百五十一万二千円、一般会計、特別会計分あわせ合計二億二千六百万五千円となつています。

なお一時借入金はありません。

市では学校関係そのほか公共的な土地や建造物をもつているわけですが、いつたいどのくらいあるのでしょうか。

土地では地積にして現在八万六千百八十余坪、建物は面積にして一万四千五百二十余坪をもち、預金と有価証券はあわせて千五百六十八万七千余円があります。

また、市債の現債高は一般会計分を債目別にみますと、教育債が七千五百七万二千円、土木債千五百二十万九千円、社会及労働施設債八百三十五万二千円、消防費五百八十四万円、保健衛生費二百三十九万五千円、市役所債六十二万五千円で計一億七百四十九万三千円となり、特別会計分では、上水道事業債が九千八十四万三千円、西口土地区画整理事業債千八百三十三万三千円、下水道事業債八百万円、公益質屋事業債百三十三万六千円で計一億一千八百五十一万二千円、一般会計、特別会計分あわせ合計二億二千六百万五千円となつています。

なお一時借入金はありません。

三十七年度の市税は二億七千四百五万四千円を予算に計上してありますが、九月末までの収入済額は一億三千三百三十七万三千円で、収入割合は四八・七%になります。

特別会計

公営事業経理の概要

一般会計以外の公営事業には、上水道事業・国民健康保険事業・公益質屋事業・有線放送事業・宅地造成事業・柏駅西口土地区画整理事業・下水道事業がありますが、三十七年九月現在の収支状況はつぎのとおりです。

(1)上水道事業

現水道は旧市街地の一円を給水区域として昭和三十四年度に竣工しましたが、その後東京都の衛星住宅都市として急速な発展をみて、現有施設は既に限界に達し、今後ますます人口の増加が予想されますので給水区域を拡げ、給水人口五万七千人を予定し総工費三億五千万円、五ケ年計画で本年度から第一次拡張工事に着手しました。

九月末現在の給水戸数は五、三二一戸で前年同期よりも九六九戸増加し、また料金調定額は昭和三十六年度上半期平均一、五八三千円に対し本年度は二、六二四千円で一、〇四〇千円多く、実に六六%の増加となつています。

(2)国民健康保険事業

国民健康保険税の徴収率は、九月末で予算に対し二六・四%調定に対し二〇・二%で前年度と比較すると対予算で三・九%対調定で三・五%上昇しています。

しかし、普通税の徴収率に比べると著しく低く、徴収については特に努力する必要があります。

(3)公益質屋事業

貸付在庫高は昨年十二月を底として除々に増加の傾向をたどり、本年九月末現在一、六六九千円で前年度九月末に比べ二一一千円本年三月末に比し三九一千円増加しています。

(4)有線放送事業

有線放送電話の加入台数は期間中加入三七台、脱退三台、九月末現在二、五二二台で、事業の主な収入である使用料の徴収については電話加入者組合の協力により概ね順調な成績で収納しています。

また現施設は、相当年数を経過し耐用年数が満了に近づいたものが多いので、諸障害が頻発しこの保守補修には非常な努力をはらつていますが、この対策として来年度にわたり施設の大改修を実施する予定です。

(5)宅地造成事業

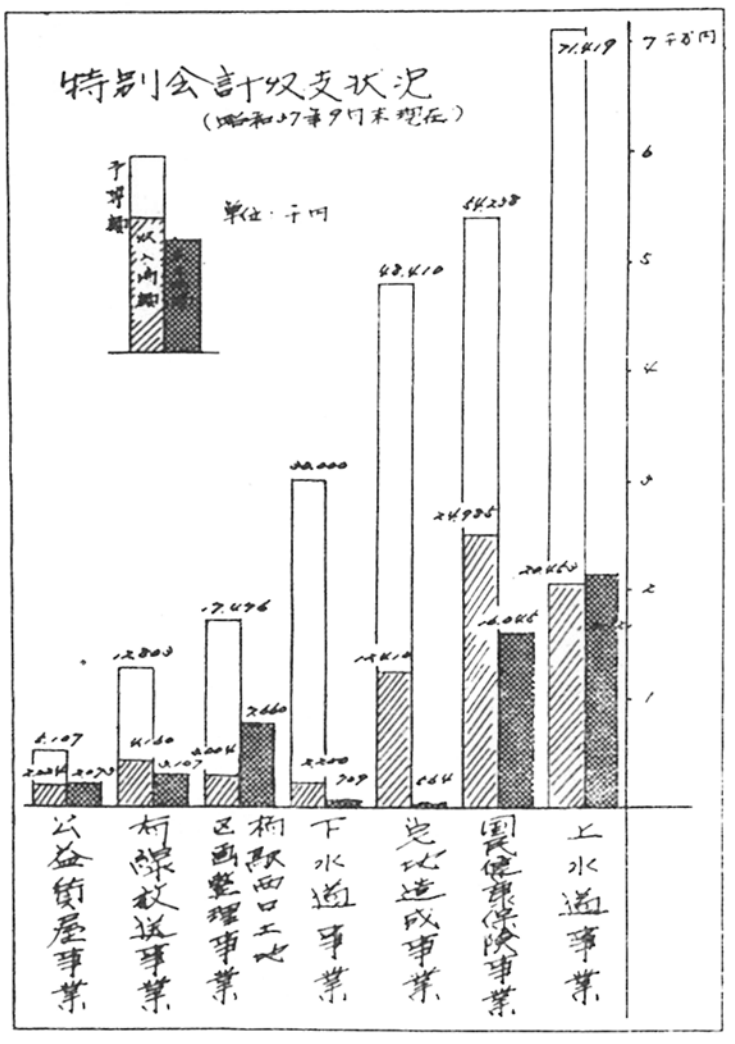
昭和三十六年度に宅地として造成した篠籠田八幡、後原地区の土地二十七区画を公募の方法により売却処分を完了しました。

(6)柏駅西口土地区画整理事業

昭和三十七年度上半期は、区画街路築造工事として、才二地区才十三号線、第十四号線、第十六号線を施行し、巾員四米、延長三六三・六米を完成、整地工事については才三地区の切土を柏中学校下及び第二地区水田の埋立に充当しました。この埋立面積四、〇六八平方米、総土量四、〇〇三立方米。また整地工事に先立ち、水田の用排水路に支障のないよう仮水路工事を行ないました。その他才一地区仮管渠の伏設工事、才二地区新国道から中学校まで柏駅裏口線の補修工事等を施行しました。

(7)下水道事業

下水道事業は、継続五ケ年第三年度で国庫補助金六〇〇万円起債一、〇〇〇万円が決定し、一般会計から一、四〇〇万円繰入れ、計三、〇〇〇万円の事業計画で工事に着手しました。



今後の財政方針

今後は経済成長の鈍化の影響並びに住宅公団豊四季団地等の人口急増に対する諸影響をも考慮し、財政の基本である健全性を貫き、そして積極的に税源の把握に努め、また補助、起債等特定財源についてはより以上にこの確保に努力し、市民の福祉のための建設事業を進め、長期的には市の総合開発計画の完成をめざし、長期建設計画に基づいて市民の福祉を目的とした市政を執行して行きたい考えであります。

本年度は、小中学校々舎、体育館の建築、市民会館、市営住宅の建築、道路の整備等投資的経費が総予算の40%を占め、この財源の大半が補助金起債等に依存している現状なので関係官庁に再三折衝を重ね、その確保についてはほぼその見通しを得ました。

残る三十七会計年度の四ケ月間は、計画事業の早期完成に努力し、財源の確保に努め柏市建設を進めて行く考えです

12月定例市議会から

助役・収入役の選任など32議案を審議

市長 施政方針を披瀝

昭和三十七年の最終市議会十二月定例会は、去る十二月十三日招集されました。

今回は市長選挙後初の議会であるため、市長の施政方針演説等が行なわれ（別項をごらんください）議案三十件及び請願、陳情十三件をそれぞれ議決或いは採択し、十二月二十二日閉会いたしました。

その経過はおよそつぎのとおりです。

助役　松崎　健

収入役　井戸　弘

十三日の第一日目は　日程に従い例によつて会期を二十二日までの十日間と決定し、続いて会議録署名議員の選任の後　市長の施政方針演説があり　今後の市政執行における方針が披瀝されました。

また市政一般報告等が行なわれ、更に市長提出によるところの任期満了に伴う助役及び収入役の選任並びに昭和三十六年度決算認定の件等を含む二十八件の議案が上程され、各議案について市長及び担当課長の提案説明がなされました

助役及び収入役の選任にかかる議案については直ちに質疑を行ない採択の結果それぞれ原案のとおり同意されました。

以上で第一日目の日程が滞りなく消化され、翌十四、十五、十六日の三日間を休会とすることに決定し散会となりました。

第二日目の十七日及び第三日目の十八日は、いずれも一般質問が行なわれ、七名の議員により市政に対する活潑な質問戦が交わされました。

第四日の十九日は、先に上程された二十六件の議案について質疑を行ない、議案第一号有線放送電話業務の継続については原案どおり承認、また第二十五号決算の承認については、決算特別委員会を設置し閉会中の継続審査とすることに決定されその他の議案については請願六件、陳情五件とともに各常任委員会に付託されました。

続いて日程追加により二件の議案が上程され、質疑の後担当常任委員会に付託されました。

翌二十日、二十一日は付託議案等の審査のため常任委員会が開かれました。

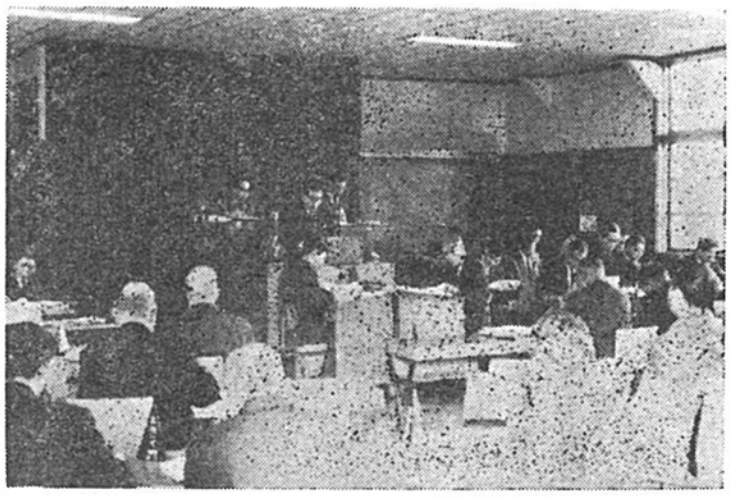
最終日の二十二日は　付託議案並びに請願、陳情について各常任委員長から委員会における審査報告が行なわれ、議案第一八号柏市耐火建築促進のための助成条例の制定と、十一月臨時会に提出され、閉会中の継続審査となつていた請願一件については閉会中の継続審査とすることに決定し、その他については原案のとおり可決或いは採択されました。

引続き日程の追加により、議員提出による議案二件―市庁舎の建設促進に関する決議案と有線放送施設改修費の起債について―が上程され原案のとおり可決されました

また千葉県新市競輪組合議会議員である松丸巌議員から当該組合議員の辞職願が提出され、議会はこれを許可し、後任議員として選挙の結果　高橋一成議員が当選就任しました。

以上で昭和三十七年十二月定例会の全日程を終了しました。

なお、今期可決されたおもな議案はつぎのとおりです。



12月定例会で施政方針を述べる浜島市長

可決されたおもな議案

◇専決処分の承認

有線放送電話業務を昭和三十七年十二月十日以後も引続いて行なおうというもの。

◇柏市助役の選任

昭和三十七年十二月二十二日で任期満了となる助役松崎健氏の後任者として再び松崎健氏が選任されました。

（次頁へつづく）

◇柏市収入役の選任

昭和三十七年十二月十六日で任期満了となる収入役井戸弘氏の後任者として、再び井戸弘氏を選任。

◇起債について　八件

(1)柏才一小学校改築事業費に充てるため、年六分五厘以内の利率（以下同率）で一千百五十万円以内を起債。

(2)田中中学校新築事業費に充てるため、五百万円以内を起債。

(3)柏才三小学校屋内体育館新築事業費に充てるため、八百五十万円以内を起債。

(4)柏才二中学校増築事業費に充てるため、百万円以内を起債。

(5)中央公民館市民会館建設事業費に充てるため、一千万円以内を起債。

(6)上水道事業費に充てるため、一千万円以内を起債。

(7)下水道事業費に充てるため、一千万円以内起債。

(8)有線放送施設改修事業費に充てるため、二百万円以内を起債。

◇財産の取得

①私有道路敷を市道路敷として寄付受け入れ。

柏市柏東宮前五九九の四、宅地一三・九四坪を柏市柏六一四番地　森田盛光氏が寄付

②土地の寄付願出により、上水道才一水源才三号井敷地として受け入れ。

柏市柏下新田一、五一四の一宅地一二・九五坪　寄付申入者東京都港区芝西久保巴町九二財団法人電気通信共済会理事長杉山栄蔵氏

◇市道路線の一部廃止

市有道路を付替道路と交換により廃止しようというもの。

廃止区間柏市柏字東宮前五九八番地々先　延長一二・七〇米巾員三・六四米

◇工事契約の締結

先の九月定例会で議決された柏市公共下水道事業西幹線工事の追加工事を施工するため、請負金額百九十八万円で不二建設株式会社と契約を結ぶ。

◇営造物の処分

現在の市営火葬場は、東葛中部地区総合開発事務組合火葬場が設置されたため、不用となつたので、これを廃止するもの。

また、これに伴つて柏市営火葬使用料金条例は廃止されました。

◇柏市税条例の一部を改正する条例の制定

地方税法の改正に伴い、市税について条例の改正の必要があるので、所定の改正をしようというもの。

◇柏市議会議員に対する期末手当の額の特例に関する条例の制定

昭和三十七年十二月に支給する期末手当に限り、報酬の月額に百分の三百を乗じて得た額を支給するもの。

◇柏市一般職の職員に対する期末手当の額の特例に関する条例の制定

昭和三十七年十二月に支給する期末手当に限り、在職期間に応じて給料等の月額に百分の二百五十を乗じて得た額を支給しようというもの。

◇昭和三十七年度柏市一般会計歳入歳出更正予算について

本年度才五回目の更正予算で、既定予算額五億九千五百十三万七千円に対し、七百二十五万六千円の減額で、予算現計額は五億八千七百八十八万一千円となりました。

◇昭和三十七年度柏市國民健康保険事業特別会計歳入歳出追加更正予算について

本年度才一回目の追加更正予算で、既定予算額五千四百二十三万八千円に対し、七百五十七万一千円の追加があり、現計額は六千百八十万九千円となりました。

◇昭和三十七年度柏市有線放送事業特別会計歳入歳出追加更正予算について

本年度才二回目の追加更正予算で、既定予算額千二百八十万三千円に対し、四十六万三千円の追加で、現計額は千三百二十六万六千円となりました。

◇財産の取得及び購入契約の締結

①昭和三十一年光ケ丘小学校校地取得にかかわる懸案事項の解決をはかるため、柏市豊四季字中原七七三番の二七、同番の六の国有鉄道用地四一一・二〇平方米を、二百七十三万六千六百六十八円で購入。契約の相手方東京都千代田区丸の内一の一日本国有鉄道東京鉄道管理局局長　立花文勝氏

②柏市営住宅建設敷地に充てるため、柏市根戸字高野台四六七番地　宅地四、三二四・一〇五平方米を、二百五十六万三千九百六十三円で購入。契約の相手方関東財務局千葉財務部長　葉吹秀雄

◇市庁舎の建設促進に関する決議案の提出

柏市は東京都の衛星都市として市制施行以来急速に発展し、人口十万人を迎える日も既に目前に迫っているが、市の象徴とする現在の庁舎は余りに狭まく、老朽化しているため事務能率の増進をはばみ、能率的な行政の確保を期待することは不可能である。

このため、市制施行十周年記念事業の一環として、昭和三十九年度までに庁舎建設が実現できるよう事業の推進を図ろうというもの。

（継続審査となつたもの）

◇昭和三十六年度柏市歳入歳出決算の認定について

昭和三十六年度の各会計決算について、議会の認定を求めようというもの。

◇柏市耐火建築促進のための助成条例の制定について

耐火建築物等の建築主に対し、固資定産税の二分の一の額に相当する額を五年間にわたり助成しようというもの。

12月定例市議会における施政方針

市長選挙後初の十二月定例市議会で、市長の施政方針が行なわれ、柏市の現況と将来をいかにすべきか、再選を得た浜島市長は基本方針を述べていますが、その中からその要旨をひろってみました。

【市財政の安定と向上】

いかに立派な構想施策も財政の安定と向上がなくてはとうてい望めず健全財政の上に立って方針を樹てるべきである。この財源獲得には完全な自主財源の把握と税源の確保であり、このために工場団地造成による大企業の誘致、国県補助金と起債の積極的な獲得に努める。

【執行体制の確立と人づくり】

従来機構の改善と事務能率の向上の諸施策を行なつてきたが、今後一段とこの改善強化に努めるとともに全体の奉仕者としての責任感旺盛な人づくりに努力する。

【綿密な企画と実施効果測定の体制】

これは前述の執行体制の確立と不可分のものだが、すべて物事は綿密な計画のもとに運ばれなければならず、特に柏市のように日に日に新らしく変化する都市の場合は綿密な計画は欠かすことのできない重要事項である。綿密な計画に基づいた必要な事業を必要な時期に実施し、市民の要望にどのように応えることができたかを調査し測定してはじめて効果的な行政の実を挙げ、市民の福利増進に役立つものと考える。

【発展に即応した行政執行と水準の向上】

柏市のように急激に発展する都市としては、住民からの各種行政上の要望にいかに応えるかは大きな問題であり、特に急激な発展速度からくる悩みと都市そのものの本質的な性格上からの問題があるものと思われ、住民の要望に応えるには各部門にわたつての発展に即応した執行の必要が生じ、なおかつそれらの行政は昨日より今日と常に新らしいより程度の高い水準を要望されるのが常であり、為政者として特にこの点に留意したい。

（また、各行政全般特に永年の懸案事項についての要点を、つぎのように述べています。）

(1) 駅前広場と駅前貫通道路

玄関口である駅前広場については東京鉄道管理局との交渉も順調に進んでおり、駅公舎敷地等も代替予定地について近く関係者が来柏して現地調査をする予定である。またこの事業は、都市計画上の計画がまだ決定してないので早急に計画するため準備中である。

駅前の貫通道路については、特定財源の関係で遅れているが三十八年度に実現を計りたい。

(2) 運輸通信対策

常磐線輸送力の増強は、新らしくできる日本住宅公団豊四季団地の関係もあり、強力に推し進め実現を計る。

武蔵野線については、九月定例会の「市政方針」で述べたとおりで、当市にとつては重要事項のひとつなので、今後の動向には充分注意したい。

郵便集配区統一については相当の困難性はあるが、今後とも努力し、一般加入電話については田中局の自動化工事中である。

(3) 市街地開発区域の指定と総合開発計画

市街地開発区域の指定については、準備調査を実施中であり、十二月中調査完了、三十八年一月から三月までに本調査を基礎とした開発計画を立案し、首都圏整備委員会に提出される予定である。この計画は、当市の土地利用計画を主体としたいわゆる総合開発計画で、用途地域設定等もすべてこの計画に基づいて実施されることになるので、今後も慎重に作業を進める。

(4) 教育行政

義務教育施設の整備は未だ充分ではないので、不足坪数、危険校舎の解消は勿論、逐次校舎を不燃化建築とすることを才一とし、あわせて内容の整備を行なう考えである。また才一小学校、柏中の今の規模等からみて、第六小学校、才三中学校の必要があるので早急にこれらの対策を計り、給食施設等についても財政の許す範囲で実施の方針である。

(5) 土木行政

市の発展とともに道路の新設改良は、ますますその必要性が増大しつつあり特に今後は全市道の舗装化を重点として道路行政を推進したい。

また西口区画整理事業も着々進行しつつあり、公共下水道については目下西口幹線を施工中で、住宅公団の進出により事業繰り上げ実施が予定されている。

上水道については、才三水源の設置を計り拡張を計画中である。また都市計画事業についても促進を計り、特に用途地域の設定については市総合開発計画の策定とあいまつて慎重に実施したい考えである。

(6) 衛生厚生行政

環境衛生、特に汚物処理事業を重点的に実施することが、今後の市発展を促進する見地から重要事項であるのでこの対策に万全を期しまた市内の不良住宅の解消と社会的福祉関係諸団体の育成に重点を向けたい。

(7) 経済行政

農業基本法の施行に伴い、今後における農家経営の指導と農業団体の指導育成を計り安定した大都市近郊地帯の農家経営のあるべき姿を打ち出す方針で商工関係については、金融の円滑化と経営指導を計り、中小企業の近代化を目指す

(8) 近隣町村との関係

現在の四ヶ市町村一部事務組合の組織を基礎として一層の友好関係を推進し将来の大柏市実現を目標として良好な関係を保つていきたい。

がんの巡回診断
百九十名が受診
ことしも二回実施の予定

…各所を巡回するガン検診車…

千葉県がん対策要綱に基き、がん検診車「房総号」によるがんの無料巡回診断が、昨年十二月十一日から三日間当市で初の試みとして行なわれました。

今回は、柏市国民健康保険施設活動の一環として成人病対策中特に「胃がん」を中心とする胃腸疾患について、健康調査とエックス線間接撮影を千葉県衛生民生部、松戸保健所、東京医科大学の協力で行なわれましたが、予想外の成績を収め受診者から深く感謝されました。

この巡回診断によつて、一名でも尊い人命を救うことができたらと念願をかけて実施した結果、意外にも多くの人命救助ができる見込みがつき、更にこの事業を年次計画にとり入れて国民健康保険事業の中に高血圧と同様大きくとり上げたい方針で、ことしの五月と十一月にも実施する計画です。

今回は第一回目であり申込者は少く、二七五名で受診者は約六九パーセント、その結果再度精密検査を要する者が五二名、胃下垂と診断された者五三名、異常のなかつた者が八四名でした。

がんの精密検査は綿密な検査と多額の費用を必要としますが、国民健康保険と県の一部負担により本人は無料で受診できるようにいたしました。また四月と十月にはがん巡回映画会を行なう予定でいますが、一人でも多くがんに対する知識を深めていただき早ければがんは必らず治るという自覚を持つて健康診断を受けるようにしたいものです。

589,837円
歳末たすけあい運動
実績額

昨年 12月に行なわれた「歳末たすけあい運動」は、みなさんの理解あるご協力によつて目標額を突破しました。みなさんからのお金や品物は、社会福祉協議会を通じて市内の生活困窮者へ届けいたしました。

ここに、ご協力くださつた方々へ報告をかねて厚くお礼を申し上げます。

目標額	350,000円
実績額	589,837円 〔37.12.25現在〕

市寄附金	50,000円
戸別 〃	366,644円
団体 〃	93,778円
個人 〃	34,000円
小中学生 〃	24,508円
その他	20,907円

配分額	（世帯）	（人）	
① 給与保護世帯数	90	280	202,500円
② 給与要保護世帯数	107	416	270,500円
③ 病院、施設入院者	27ヶ所	116	116,000円

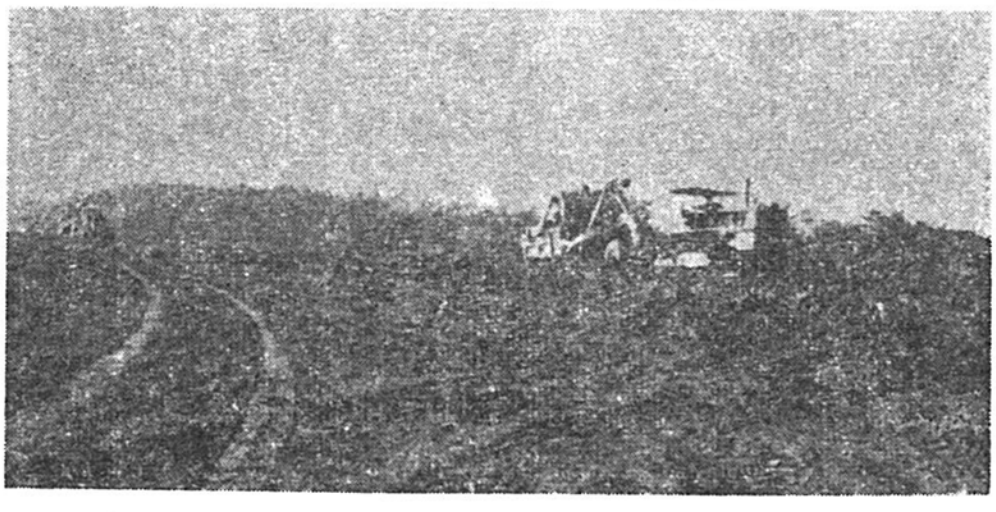
寄附物品数衣類3,700点県内各施設に配給

今谷上南柏幼稚園のよい子たちは不幸な人たちへと自分のお小遣いをもちより、市役所を訪れました

柏市百秀会土地区画整理組合設立が認可

かねてから、土地区画整理組合設立の認可申請中であつた名戸ケ谷地区亀甲台の土地区画整理事業について昭和37年12月14日付で「柏市百秀会土地区画整理組合」として設立が認可されました。

（整地がすすめられる名戸ケ谷亀甲台）



2月の納税

固定資産税　第4期分

税金をためてしまうと、納めにくくなり滞納のもとになります。税金はそのつど納めましょう。